

事業別経営計画書【B】

■基礎情報

所属名	生涯学習課	No.	01
事業名	家庭教育推進事業		
総合計画の 体系	大分類	1	新しい時代を担う次世代を育む
	小分類	(2)	一人ひとりが尊重される社会・地域ぐるみの子育て環境の実現
目的	将来を担う子どもたちの健全育成は、学校・家庭・地域及び子どもに関する関係機関が連携し、すべての教育の基である家庭教育の充実を図り発展させること。		
事務内容	<ul style="list-style-type: none"> ・家庭教育講座 ※小学生以上を対象にした講座や親子を対象にした自然体験教室等を開催する。 ・青少年問題協議会会議及び啓発活動 		<ul style="list-style-type: none"> ・親子ふれあいファミリーフェスタ ※ふれあいまつりで小、中学校PTAと協働契約により開催する。
現在における経過又は課題	<p>社会構造の変化に伴い、子育て家庭の孤立や地域の子育て力が低下している。その為、学校、家庭、地域が連携して、自然体験や親子ふれあいの場づくりに務め、家庭や地域が共に子育てに参加し、その教育力を高めることが必要である。</p> <p>町の他部局やNPO登録団体等が行う同様の事業も多く、講座や体験教室に同じ受講者が参加するなど、新たな参加者が増加していかない。</p>		
平成28年度の目標又は改善策	<p>親子講座や親子（父子）がふれあい、ともに学習できる機会の提供などより一層の充実を図る。</p> <p>新たな参加者の獲得のためアンケート調査等を実施しながら更なるニーズの発掘に努力する。</p> <p>事業や開催時期などが重複しないよう、他の部局と情報を共有しながら連携を密にするようにする。</p> <p>青少年問題関連活動の一層の推進を図る。</p>		

■作業工程（当該年度）

月	作業内容
4	前期家庭教育講座の受付及び事業展開、アンケート調査（5月～8月）
7	日間賀島親子自然体験教室開催及びアンケート調査
8	青少年問題協議会の開催
10	後期家庭教育講座の受付及び事業展開、アンケート調査（11月～2月）

□3年間の目標

項目（単位）	H26 計画	H26 実績	H27 計画	H28 目標	H29 目標	H30 目標
目標	・ ・					

□2年後、3年後の主な計画

年度	計画内容及び改善策等
H29 年度	・ ・
H30 年度	・ ・

■事業コスト

		単位	H26 年度決算額	H27 年度当初予算額	H28 年度計画額
事業費		千円	838	1,097	987
(内特定財源)		千円	252	245	245
人工	職員	人工	0.4	0.6	0.3
	臨時職員	人工	0.2	0.2	0.2
	計	人工	0.6	0.8	0.5

■平成 28 年度計画特定財源内訳

(単位：千円)

特定財源名称	金額	備考(充当先等)
19-3-4-9-2-2 家庭教育講座受講料	20	10-5-1 3 家庭教育推進事業
19-3-4-9-4-1 家庭教育活動参加者負担金	225	10-5-1 3 家庭教育推進事業
合計	245	

■平成 28 年度計画額の主な増減

(新たな取組、臨時経費、廃止項目等)

(単位：千円)

項目(科目等)	計画額	増減額	内容

■特記事項

なし

■目標又は改善策に対する取組内容

講座や教室に参加する親子などが固定化する傾向があるため、多くの方々に参加していただけるよう周知方法や内容について検討した。

他の部局、団体と同様な行事については、重複している内容について再確認をした。

●前期家庭教育講座

・親子自然教室

「竹で、たけのこごはん！」（1回、12組、40人参加）

「たけパンづくり」（1回、8組、28人参加）

日間賀島親子自然体験教室（1回、26組、89人参加）

・夏休み親子料理教室（2回、延11家族、23人参加）

・理科おもしろ実験講座

「音の実験 音速を越えて衝撃波を発生させよう」（1回、15組、27人参加）

「電気と磁石 モーターを作ってみよう」（1回、13組、23人参加）

「作用と反作用 ペットボトルロケットを作ろう」（1回、18組、31人参加）

●後期家庭教育講座

・理科おもしろ実験講座

「土の中の生物 ツルグレン装置を作って土の中の生き物を見つけよう」（1回、11組、18人参加）

「発熱反応 使い捨てカイロを作ってみよう」（1回、15組、25人参加）

・マイギリ式火おこし器づくり（1回、5家族、15人参加）

●ふれあいまつり2016

大口中学校 PTA 千本引き（514人参加）

大口南小学校 PTA 缶積みゲーム（430人参加）

大口北小学校 PTA 親子いすづくり（100組参加）

大口西小学校 PTA Let's チャレンジ! わなげ（984人参加）

●父子料理教室（おやじの会 協働事業）（8組、18人参加）

●青少年問題協議会で巡回パトロール実施（ヨシツヤ・バロー）

中学校・保護司と連携して、校外巡視時に啓発チラシ・グッズを配布

■評価

家庭教育に関連した各種講座・教室を開催することにより、多くの参加者が家族の絆などその意義を体験することができ、参加者からは概ねよい評価をいただいている。親子自然教室では、地震災害時などに役立つよう屋外で薪をつかったの炊事経験や火おこしを体験した。

親子自然教室では、父親の積極的参加がみられ、母親を含めた家族でのより良い家庭教育の場となった。今後は、他市町の講座状況や住民の多様なニーズを掌握し、事業展開を図っていきたい。

また、町 NPO 登録団体や小中学校 PTA と協働開催し、事業展開していくことや学校との連携・調整もスムーズに行えた。

事業別経営計画書【B】

■基礎情報

所属名	生涯学習課	No.	02
事業名	生涯学習活動推進事業		
総合計画の 体系	大分類	1	新しい時代を担う次世代を育む
	小分類	(1)	個性を伸ばし豊かな人間性を育む学校教育・生涯学習の推進
目的	人々が自らの意思で、生涯学習活動を進めることにより、大口町生涯学習基本構想に基づき「生涯学習のまちづくり」を目指すこと。		
事務内容	<ul style="list-style-type: none"> ・文化振興（芸能文化事業） ・学校支援地域本部事業 ・文化協会支援 ・成人の集い実行委員会支援 ・リフレッシュリゾート施設利用助成 ・生涯学習のまちづくり事業委託 		
現在における経過又は課題	<p>学校、家庭、地域がそれぞれの役割を持ちながら互いの教育力を補完し合い、学習活動を推進する必要がある。</p> <p>大口町文化協会は、会員の高齢化が進んでいるが、協会の自立が期待されているとともに会員をどのように増やしていくかが大きな課題である。</p> <p>学校支援地域本部事業のより一層の拡大と継続性の確保。</p>		
平成 28 年度の目標又は改善策	<p>開かれた学校づくりの一環で地域住民が学校における行事や事業への参加・協力ができるよう学校地域支援本部の継続と拡充のため情報発信やボランティアの確保などを図っていく。</p> <p>また、愛知県文化協会連合会西尾張部芸能大会が大口町で開催されるため、協力団体の確保などを図っていく。</p>		

■作業工程（当該年度）

月	作業内容
4	大口町文化協会補助金交付決定 事業の展開支援（4月～3月）
6	生涯学習のまちづくり事業委託契約 町NPO団体と協働委託契約を締結 芸能文化事業の展開（6月～2月） ・ほほえみコンサート、なんでもマラソンコンサート、おおぐち合唱祭、ダンス&ミュージック
7	大人の集い実行委員会立ち上げ 事業の展開（8月～1月）
1	大人の集い開催 リフレッシュリゾート施設利用申請受付、利用券交付（4月～3月）

□3年間の目標

目標	・ ・					
項目（単位）	H26 計画	H26 実績	H27 計画	H28 目標	H29 目標	H30 目標

□2年後、3年後の主な計画

年度	計画内容及び改善策等
H29 年度	・ ・
H30 年度	・ ・

■事業コスト

		単位	H26 年度決算額	H27 年度当初予算額	H28 年度計画額
事業費		千円	18,710	20,220	19,506
(内特定財源)		千円	105	107	308
人工	職員	人工	0.6	0.6	0.3
	臨時職員	人工	0.2	0.2	0.2
	計	人工	0.8	0.8	0.5

■平成 28 年度計画特定財源内訳

(単位：千円)

特定財源名称	金額	備考(充当先等)
12-1-9-4-4-1 特別教室開放施設使用料	108	10-5-1 4 生涯学習活動推進事業
17-1-2-1-1-1 ふるさとづくり基金繰入金	200	10-5-1 4 生涯学習活動推進事業
合計	308	

■平成 28 年度計画額の主な増減

(新たな取組、臨時経費、廃止項目等)

(単位：千円)

項目(科目等)	計画額	増減額	内容
10-5-1 4 19-1-8 県文連西尾張部芸能大会負担金	580	580	・愛知県文化協会連合会西尾張部芸能大会が大口町で開催されるため、その舞台運営費等の助成を行う。

■特記事項

なし

■ 目標又は改善策に対する取組内容

中央公民館廊下やロビーなどを有効活用し、文化協会や学校支援地域本部事業、地域自治組織などのPRができるようパネルの展示や事業報告などを掲載し、各種団体へ加入へのアピールを行った。

● 芸能文化事業

ほほえみコンサート（3回、延入場者89人）

大口なんでもマラソンコンサート（1回、40組、58人参加）

おおぐち合唱祭（1回、7団体、164人参加、入場者211人）

ダンス&ミュージックフェスティバル（1回、19団体参加、入場者約400人）

● 成人の集い実行委員会支援

成人の集い参加者 241人参加

● 文化協会支援

文化部、芸能部合わせて23団体、482人

作品展及び教室 19事業

発表会及び慰問 89事業

● 県文連西尾張部芸能大会補助事業

毎年西尾張部10市町村で持ち回りの芸能大会が大口町で開催となったため、その舞台運営の補助を行った。

参加団体 西尾張部10市町村（115名）

参加者数 スタッフ73名、司会者1名、来賓20名、来場者数500名（594名）

● リフレッシュリゾート施設利用助成

宿泊利用者数 1,334人

日帰り利用者数 720人

FDA利用者数 74人

● 学校支援地域本部事業

ボランティア登録人数 87人

活動日数・活動人数

・大口中学校 延194日 584人

・大口南小学校 延73日 431人

・大口北小学校 延81日 205人

・大口西小学校 延66日 354人

■ 評価

従来の外部招へいの芸能鑑賞会から町内の団体と協働委託事業としたことが定着化し、実施団体のより一層の活性化だけでなく、町内で文化活動をしている団体の掘り起しと同時に、団体と団体との交流の場となった。また、数多くの子どもの活躍が目立ち、本町の芸能文化の向上につながった。

文化協会においては、助成の仕組みについての整理を行い、各クラブの理解と協力が得られ順調に進めてきたが、会員の高齢化などクラブの存続が危ぶまれる団体もあり、新たなクラブの募集や会員募集など積極的に進める必要がある。

西尾張部芸能大会においては、平成17年度以来の開催で、第31回国民文化祭が愛知県で開催されたため、国や愛知県と連絡調整を図りながら、参加市町村と親睦を深めることができた。また併せて、本町の文化活動の普及、向上につながった。

リフレッシュリゾート事業では、平成27年度より航空運賃補助など新たに3地区を助成対象とするなど拡大をしたが、PRの方法を考察し、より多くの方に利用してもらえるよう検討する必要がある。

学校支援地域本部事業では、参加されるボランティアの方からは、自信とやりがいを強く感じられたという意見が多く寄せられ、生涯学習実現の場として大きな役割を果たしていると感じられた。今後も学校支援活動がますます町全体での活動に広がっていくよう継続していきたい。

事業別経営計画書【B】

■基礎情報

所属名	生涯教育部 生涯学習課	No.	03
事業名	生涯学習講座事業		
総合計画の 体系	大分類	1	新しい時代を担う次世代を育む
	小分類	1	個性を伸ばし豊かな人間性を育む学校教育・生涯学習の推進
目的	町民一人ひとりが、変化の多い社会の中で「明るく、楽しく、豊かに」生きることを願い、様々な分野の各種講座を開設し、個々の教養や技術を習得すること。		
事務内容	<ul style="list-style-type: none"> ・定期講座 ※前期、後期に分け、主に教養を深めることや趣味の拡大を目的に1講座6回程度開催する。		<ul style="list-style-type: none"> ・旬の講座 ※その季節にあわせて1講座1回から3回程度開催する。
現在における経過又は課題	住民が求める講座や教室は、多種多様であり、講座や教室の内容の企画や選定に苦慮している。多くの参加を見込める講座等を企画する必要があるが、他の部局と同様の事業や時期が重複している傾向がみられる。		
平成28年度の目標又は改善策	講座の開催場所を学校や学供、町外施設など幅広く活動の場を展開する。 アンケート調査で得た情報を基に、更に住民ニーズを吟味し、新たな講座等を企画していく。 新たな講座等も大切だが、既存の(文化協会活動)活動も積極的にリトライしていく。 また、平成27年度に島根県松江市と姉妹都市提携を結んだことから、松江市への現地講座を企画していく。		

■作業工程（当該年度）

月	作業内容
4	前期生涯学習講座の受付及び事業展開（5月～8月）
10	後期生涯学習講座の受付及び事業展開（11月～2月）
	* 事業の展開と共に、新たな講座等を企画していく。

□3年間の目標

目標	.					
	.					
項目（単位）	H26 計画	H26 実績	H27 計画	H28 目標	H29 目標	H30 目標

□2年後、3年後の主な計画

年度	計画内容及び改善策等
H29 年度	.
	.
H30 年度	.
	.

■事業コスト

		単位	H26 年度決算額	H27 年度当初予算額	H28 年度計画額
事業費		千円	857	1,145	1,755
(内特定財源)		千円	87	60	360
人工	職員	人工	0.6	0.6	0.6
	臨時職員	人工	0.2	0.2	0.2
	計	人工	0.8	0.8	0.8

■平成 28 年度計画特定財源内訳

(単位：千円)

特定財源名称	金額	備考(充当先等)
19-3-4-9-2-1 社会教育講座受講料	360	10-5-1 5 生涯学習講座事業
合 計	360	

■平成 28 年度計画額の主な増減

(新たな取組、臨時経費、廃止項目等)

(単位：千円)

項目(科目等)	計画額	増減額	内容
10-5-1 5 13-16-1 生涯学習講座開催委託料	1,194	300	・平成 27 年度に島根県の松江市と姉妹都市提携を結んだことをきっかけに、本町でも歴史ボランティアを育成するため堀尾氏等の講座を含め松江市での現地講座を企画する。

■特記事項

なし

■ 目標又は改善策に対する取組内容

受講者へのアンケートや生涯学習基本構想策定時のアンケート調査、聞き取り、民間事業者により各所で実施されている講座の情報収集などにより、多種多様な住民の学習要求に応えられるよう準備に努めた。

● 前期講座

- 「野外民族博物館 リトルワールド」(1回、18人参加)
- 「ヤマザキマザック美術館鑑賞」(1回、17人参加)
- 「楽しい写真講座 ～素敵写真を撮ろう！～」(6回、延112人参加)
- 「教科書には載らない歴史講座」(6回、延144人参加)
- 「クラフトバンド教室」(6回、延50人参加)
- 「「今」を伝える川柳講座」(3回、延9人参加)
- 「初めての大正琴講座」(6回、延36人参加)
- 「日本の伝統民踊講座」(3回、延65人参加)
- 「心と体のリラックスヨガ」(5回、延97人参加)
- 「大口町出身の武将 堀尾吉晴公を知ろう」(2回、延60人参加)
- 「大口歴史ガイドボランティア養成講座 (松江市での実地研修)」(1回、10人参加)

● 後期講座

- 「徳川美術館鑑賞」(1回、31人参加)
- 「野外民族博物館 リトルワールド」(1回、9人参加)
- 「ハワイアンフラダンス教室」(6回、延102人参加)
- 「大人のヘルシースイーツ教室」(1回、14人参加)
- 「大人かわいいグルーデコ[®]教室」(3回、延26人参加)
- 「四季を詠む 初めての俳句講座」(6回、延88人参加)
- 「やさしいクラフトバンド教室」(6回、延117人参加)
- 「心と体の幸せヨガ」(7回、延128人参加)

● 高齢者教室～さくら大学～(12回、延817人参加)

■ 評価

一般成人から高齢者まで幅広い年齢層の方を対象に様々な学習機会を提供できた。また、生涯学習基本構想のキーワード「学びを創る」「学びにつどう」「学びをつなぐ」という考え方の基、「誰でも、いつでも、気軽に学べる」をモットーに今後の人材育成や生きがいがいづくりにつながるように、受講者アンケートなどを参考に今後の講座を検討していきたい。

事業別経営計画書【B】

■基礎情報

所属名	生涯教育部 生涯学習課	No.	04
事業名	中央公民館管理事業		
総合計画の 体系	大分類	1	新しい時代を担う次世代を育む
	小分類	1	個性を伸ばし豊かな人間性を育む学校教育・生涯学習の推進
目的	町民が安全で快適に学習できるよう、施設を整備し、町民が気楽に集まり教養や技術を習得することができると共に「明るく、楽しく、豊かに」生きることの一助とする。		
事務内容	<ul style="list-style-type: none"> ・ 施設の利用者対応 ・ 設備の維持管理 ※外注分は協議・契約・履行確認		<ul style="list-style-type: none"> ・ 支払処理 ・ 消耗品等の補充 ・ 除草等清掃作業
現在における 経過又は課題	平成 26 年度に耐震工事と改修を行い整備されたが、施設内の備品など老朽化や破損しているものが目立つ状況なので、平成 27 年度より対応をしている。 また消防設備が老朽化による不具合がでてきているため対応が必要である。		
平成 28 年度 の目標又は 改善策	27 年度より 3～5 年ほどの計画で会議室の机や調理室の調理器具などを更新しており、引き続きしていく。 また、修繕で対応可能な部分については、積極的に修繕し、改修が必要な場合にもできる限り対応していく。		

■作業工程（当該年度）

月	作業内容
4	年間を通して行う保守点検等の契約締結 随時、履行確認をしていく。
5	消防設備修繕 発注
<p>* 突発的な施設の不具合等への対応に努めながら、健全な施設運営を図っていく。</p>	

□3年間の目標

目標	<ul style="list-style-type: none"> ・ ・ 						
	項目（単位）	H26 計画	H26 実績	H27 計画	H28 目標	H29 目標	H30 目標

□2年後、3年後の主な計画

年度	計画内容及び改善策等
H29 年度	<ul style="list-style-type: none"> ・ ・
H30 年度	<ul style="list-style-type: none"> ・ ・

■事業コスト

		単位	H26 年度決算額	H27 年度当初予算額	H28 年度計画額
事業費		千円	748,523	84,479	65,174
(内特定財源)		千円	55,139	23,894	3,610
人工	職員	人工	0.9	0.3	0.3
	臨時職員	人工	0.3	0.1	0.1
	計	人工	1.2	0.4	0.4

■平成 28 年度計画特定財源内訳

(単位：千円)

特定財源名称	金額	備考(充当先等)
12-1-9-4-1-1 行政財産目的外使用料	90	10-5-2 3 中央公民館管理事業
12-1-9-4-2-1 中央公民館使用料	3,100	10-5-2 3 中央公民館管理事業
19-3-4-9-6-1 施設利用負担金	420	10-5-2 3 中央公民館管理事業
合計	3,610	

■平成 28 年度計画額の主な増減

(新たな取組、臨時経費、廃止項目等)

(単位：千円)

項目(科目等)	計画額	増減額	内容
10-5-2 03 15-9-1 中央公民館事務室等照明取替工事費	3,047	3,047	LED 変更
10-5-2 03 11-6-1 修繕料	3,578	3,078	消防設備、暗幕モーター修繕など
10-5-2 03 18-1-1 備品購入費	454	△146	C 教室用会議机、教育長室テレビ

■特記事項

中央公民館会議室の机、調理室の器具などが故障や破損、老朽しているため概ね 5 年をかけて更新をしていく。(平成 27 年から平成 31 年 総額 5,000 千円程度)

なお、使用できる机については、町民会館や総合運動場管理棟会議室などで利用

■目標又は改善策に対する取組内容

修繕（主たるもの）

5～6月	消防用設備連動整備盤取替修繕	1,188,000円
9月	暗幕モーター修繕	388,800円
10月	集会室トイレ便器及び配管修繕	455,760円

工事

9～10月	中央公民館LED照明取替工事	2,683,800円
	2階：教育長室、生涯教育部事務室、更衣室のLED化	
	1階：訓練室、浴室、脱衣、事務室、厨房、東外部、南トイレのLED化	
	3階：器具室、南北トイレ、電算室、事務室、南廊下、書庫のLED化、	

備品

8月	C教室用会議机	10台	366,120円
11月	教育長室テレビ	1台	65,880円
3月	調理室用冷蔵庫	1台	96,660円

■評価

少し暗いイメージの中央公民館が、明るくなったという声が利用者から聞かれた。

消防用設備の取替もできた。突発的な修繕も対応してきたが、今後も修繕を必要とする箇所については、積極的に直していく必要がある。利用者が安全に利用できる環境整備に努めていく。

事業別経営計画書【B】

■基礎情報

所属名	生涯教育部 生涯学習課	No.	05
事業名	町民会館管理事業		
総合計画の 体系	大分類	1	新しい時代を担う次世代を育む
	小分類	1	個性を伸ばし豊かな人間性を育む学校教育・生涯学習の推進
目的	町民が安全で快適に学習できるよう、施設を整備し、町民が学習成果の発表を行う場や講習等の教養を習得すると共に「明るく、楽しく、豊かに」生きることの一助とする。		
事務内容	<ul style="list-style-type: none"> ・ 施設の利用者対応 ・ 設備の維持管理 ※外注分は協議・契約・履行確認 		
現在における 経過又は課題	<p>開館からすでに 20 年以上経過しており、施設の老朽化や非構造物の耐震診断の結果、天井材に不具合や屋根の雨漏り箇所が確認されている。また、付属の備品などは、施設利用者の要望に応えることができない部分もいくつか存在し更新をする必要がある。</p>		
平成 28 年度 の目標又は 改善策	<ul style="list-style-type: none"> ・ 修繕で対応可能な部分については、積極的に修繕し、改修が必要な場合にもできる限り対応していく。 計画的（3年）に屋根補修、非構造部材の耐震化、空調機器更新を行っていく。 今年度は、雨漏りがひどいため屋根補修を行っていく。 		

■作業工程（当該年度）

月	作業内容
4	<p>年間を通して行う保守点検等の契約締結 随時、履行確認をしていく。</p> <p>* 突発的な施設の不具合等への対応に努めながら、健全な施設運営を図っていく。</p>

□3年間の目標

目標	.					
	.					
項目（単位）	H26 計画	H26 実績	H27 計画	H28 目標	H29 目標	H30 目標

□2年後、3年後の主な計画

年度	計画内容及び改善策等
H29 年度	.
H30 年度	.

■事業コスト

		単位	H26 年度決算額	H27 年度当初予算額	H28 年度計画額
事業費		千円	24,161	23,329	27,226
(内特定財源)		千円	3,565	2,889	3,131
人工	職員	人工	0.3	0.4	0.3
	臨時職員	人工	0.0	0.1	0.1
	計	人工	0.3	0.5	0.4

■平成 28 年度計画特定財源内訳

(単位：千円)

特定財源名称	金額	備考(充当先等)
12-1-9-4-1-2 行政財産目的外使用料	1	10-5-2 4 町民会館管理事業
12-1-9-4-3-1 町民会館使用料	2,230	10-5-2 4 町民会館管理事業
19-3-4-9-6-2 施設利用負担金	900	10-5-2 4 町民会館管理事業
合計	3,131	

■平成 27 年度計画額の主な増減

(新たな取組、臨時経費、廃止項目等)

(単位：千円)

項目(科目等)	計画額	増減額	内容
10-5-2 04 11-6-1 町民会館修繕料	4,464	453	舞台吊り物ワイヤー、非常用自家発電設備、観覧席の修繕
10-5-2 04 13-5-8 非構造部材耐震改修実施設計	3,372	3,372	屋根等改修工事、非構造部材耐震実施設計

■特記事項

今後、屋根の改修(雨漏り対策)、非構造部材耐震、空調設備の更新を行っていききたい。

屋根改修 66,726 千円

非構造部材耐震 37,800 千円

空調設備 143,640 千円

■ 目標又は改善策に対する取組内容

設計については、一部商工会の区分所有分があるため、町との共有部分についての負担割合について協議したものの、協議が整わず繰越明許とした。

舞台装置のワイヤー修繕、幕の取替を行った。

■ 評価

少しずつではあるが施設の修繕を実施し、利用者が安全に利用できる環境が整備できたが、今後も修繕を必要とする箇所については、積極的に直していく必要がある。

事業別経営計画書【B】

■基礎情報

所属名	生涯学習課	No.	06
事業名	社会体育振興事業		
総合計画の 体系	大分類	1	新しい時代を担う次世代を育む
	小分類	(1)	個性を伸ばし豊かな人間性を育む学校教育・生涯学習の推進
目的	町民が暮らしの中に「体育」を取り入れ「健康」と「元気」になれるよう、「町民と結びついた社会体育」をスローガンに各種講習会や大会などを開催し、町民にスポーツ参加の機会と普及に努めること。		
事務内容	<ul style="list-style-type: none"> ・スポーツ教室開催 ・スポーツ大会開催 ・体育協会支援 ・スポーツ少年団支援 		<ul style="list-style-type: none"> ・スポーツ推進委員事務
現在における 経過又は課題	<p>若い世代から高齢者の住民が生涯にわたって健康・体力づくり、趣味やレクリエーションに参加できるように多様なスポーツに親しむ機会の充実に努めていきたい。</p> <p>子供向けの事業については、総合型地域スポーツクラブであるNPO法人ウィル大口スポーツクラブが実施する事業で補完できている。</p> <p>団体支援では、自分たちだけの活動が中心であるが、多くの人を巻き込める地域貢献事業を増やしていきたい。</p>		
平成 28 年度 の目標又は 改善策	<p>子供むけの事業については、現状どおりウィル大口スポーツクラブと協働で事業を進めていく。さらに大人の事業についても同様の取り組みを実施していく。</p> <p>更にスポーツ推進委員を中心にターゲットを絞った教室を計画をしていく。</p> <p>団体支援では、自分たちの視点で団体を見直し、自らが中心となる団体だけでなく地域貢献にも積極的に取組めるよう支援する。</p>		

■作業工程（当該年度）

月	作業内容
4	各団体補助金交付決定 事業の展開支援（4月～3月）
9	地区別ソフトボール大会開催
10	町民体育祭開催
12	愛知駅伝参加
3	桜並木健康ジョギング開催
	<ul style="list-style-type: none"> ・スポーツ推進委員会議は毎月1回開催 ・スポーツ教室は年度当初に企画し、夏以降に開催

□3年間の目標

目標						
	・	・				
項目（単位）	H26 計画	H26 実績	H27 計画	H28 目標	H29 目標	H30 目標

□2年後、3年後の主な計画

年度	計画内容及び改善策等
H29 年度	・
H30 年度	・

■事業コスト

		単位	H26 年度決算額	H27 年度当初予算額	H28 年度計画額
事業費		千円	9,653	11,048	10,427
(内特定財源)		千円	582	364	486
人工	職員	人工	0.6	0.7	0.5
	臨時職員	人工	0.2	0.2	0.1
	計	人工	0.8	0.9	0.6

■平成 28 年度計画特定財源内訳

(単位：千円)

特定財源名称	金額	備考(充当先等)
12-1-9-5-4-1 学校開放施設使用料	480	10-6-1 3 社会体育振興事業
19-3-4-9-5-1 スポーツ教室受講料	6	10-6-1 3 社会体育振興事業
合 計	486	

■平成 28 年度計画額の主な増減

(新たな取組、臨時経費、廃止項目等)

(単位：千円)

項目(科目等)	計画額	増減額	内容

■特記事項

なし

■ 目標又は改善策に対する取組内容

健康のために運動する方は多くなっているが、スポーツとなるとまだまだ少なく、大人向けのスポーツ教室を実施するがなかなか参加者が増えない。

● 講座・教室

登山教室（春 27人参加 秋 24人参加）
ラグビーの楽しみ方教室（2回、延71人参加）

● スポーツ推進委員活動

委員会（委員会10回開催、スポーツ教室、町民体育祭、桜並木健康ジョギングなどを運営）

● スポーツ大会開催

地区別ソフトボール大会（男子15チーム、女子2チーム参加、延314人参加）
町民体育祭（約延2,800人参加）
愛知県市町村対抗駅伝競走大会（19人参加）
桜並木健康ジョギング（640人参加）

● 体育協会・スポーツ少年団事業

体育協会（11団体、1,861人）
春季町民総合体育大会
大口町・扶桑町親善体育大会
秋季町民総合体育大会
グラウンドゴルフ大会などを実施
スポーツ少年団（5団体、164人）
全国スポーツ少年団軟式野球交流大会地区大会
体力テスト
愛知県スポーツ少年大会西尾張支部大会などを実施

■ 評価

講座・教室については、子ども対象の事業については、ウィル大口スポーツクラブにより積極的に進められており多くの参加者からも好評価をいただいているが、成人向けの事業は人が集まらない状況が続いている。

今年度スポーツ推進委員が積極的に立案から実施まで携わったラグビーの楽しみ方教室については、ただスポーツを体験してもらうだけでなく、ここ近年の話題性を考慮しての企画と、種目のルールや見るスポーツの観点から座学も取り入れ、思考を凝らした教室で、参加者からのアンケートでは大変好評をいただいた。

スポーツ大会については、団体との協働事業やスポーツ推進委員の協力のもと、みんなで創る事業へと展開ができています。また、総合型地域スポーツクラブ（ウィル大口スポーツクラブ）とも連携しながら事業展開をしている。

体育協会については、協会独自の活動を積極的に行っており、今後さらに、安定した組織化が進むよう支援していく。

スポーツ少年団は、全体的に団員の数が以前に比べ減っているのが現状であるが、広報で特集を組むなど試行錯誤しながら団員募集に努めている。

事業別経営計画書【B】

■基礎情報

所属名	生涯教育部 生涯学習課		No. 07
事業名	温水プール管理事業		
総合計画の 体系	大分類	1	新しい時代を担う次世代を育む
	小分類	1	個性を伸ばし豊かな人間性を育む学校教育・生涯学習の推進
目的	<p>町民が安全で快適にスポーツを楽しむことができるような施設の一つとして、一年を通して活用できる温水プールを整備することで町民の体力づくり、健康づくりに努め、スポーツによる明るいまちづくりを推進する。</p>		
事務内容	<ul style="list-style-type: none"> ・ 指定管理者との協定締結 ・ 指定管理者と連携を密にとり施設の管理・運営について、確認する。 ・ 指定管理の範囲外の工事等について、検討し実施。 		
現在における経過又は課題	<p>施設の管理運営が平成 22 年度から指定管理者に委ねられ、新たに平成 27 年度に更新したが、開館からすでに 30 年近く経過しており、施設全体の老朽化は否めない。現状では、施設利用者の要望に応えることができない部分も多々存在しており大規模な修繕が必要な箇所も存在している。</p> <p>今後、非構造部材耐震工事や施設の老朽化に伴う工事が必要である。</p>		
平成 28 年度の目標又は改善策	<p>施設の管理運営が指定管理者に委ねられていることから、適切な対応がとられているか指導していく。</p> <p>施設については、指定管理者と協議のうえ大規模な改修が必要な箇所について把握し、今後の改修に向けて準備を進めていく。</p> <p>平成 27 年度にプール槽塗装、非常用放送設備の更新、ボイラー改修、照明の取替を行った。</p> <p>平成 28 年度は、男女更衣室空調改修工事を実施する。</p>		

■作業工程（当該年度）

月	作業内容
4	<p>指定管理年度協定締結</p> <p>年間を通して施設の管理運営が適切に行われているか、指定管理者の動向を慎重に見守っていく。大規模な修繕が発生した場合は、指定管理者と協議しながら対応していく。</p>

□3年間の目標

目標	<ul style="list-style-type: none"> ・ ・ 						
	項目（単位）	H26 計画	H26 実績	H27 計画	H28 目標	H29 目標	H30 目標

□2年後、3年後の主な計画

年度	計画内容及び改善策等
H29 年度	<ul style="list-style-type: none"> ・ ・
H30 年度	<ul style="list-style-type: none"> ・ ・

■事業コスト

		単位	H26 年度決算額	H27 年度当初予算額	H28 年度計画額
事業費		千円	63,627	53,095	49,874
(内特定財源)		千円	235	152	200
人工	職員	0.3	0.3	0.3	0.3
	臨時職員	0.0	0.0	0.0	0.0
	計	0.3	0.3	0.3	0.3

■平成 28 年度計画特定財源内訳

(単位：千円)

特定財源名称	金額	備考(充当先等)
12-1-9-5-1-1 行政財産目的外使用料	200	10-6-2 3 温水プール管理事業
合計	200	

■平成 28 年度計画額の主な増減

(新たな取組、臨時経費、廃止項目等)

(単位：千円)

項目(科目等)	計画額	増減額	内容
10-6-2 03 15-26-1 更衣室空調改修工事	1,836	1,836	男女更衣室空調設備の取替 ガスから電気式に取替

■特記事項

次年度以降には、非構造部材耐震工事の実施が必要
非構造部材耐震改修工事 69,660 千円

■ 目標又は改善策に対する取組内容

施設開館から30年以上経過しており、施設全体の老朽化は否めない。施設の修繕を実施し、利用者が安全に利用できる環境が整備できたが、今後も修繕を必要とする箇所については、積極的に直していく必要がある。

- 更衣室空調改修工事

■ 評価

少しずつではあるが指定管理者が施設の修繕を実施し、利用者が安全に利用できる環境が整備できたが、今後も修繕を必要とする箇所については、積極的に直していくよう指導する必要がある。

施設の管理運営が指定管理者に委ねられていることから、指定管理者と打ち合わせを行いながら、適切な対応がとられるよう指導していく。

事業別経営計画書【B】

■基礎情報

所属名	生涯教育部 生涯学習課	No.	08
事業名	グラウンド等管理事業		
総合計画の 体系	大分類	1	新しい時代を担う次世代を育む
	小分類	1	個性を伸ばし豊かな人間性を育む学校教育・生涯学習の推進
目的	町民が安全で快適にスポーツを楽しむことができるよう、また、多種多様なスポーツ種目の要望に応えられるように施設を整備し、町民の体力づくり、健康づくりに努め、スポーツによる明るいまちづくりを推進する。		
事務内容	<ul style="list-style-type: none"> ・ 指定管理委託した施設の町負担分支払 ・ 工事施工 		
現在における 経過又は課題	<p>平成 27 年度よりすべてのスポーツ施設を指定管理者制度に移行したため、今後は、指定管理者と調整しながら施設の維持にあたる必要がある。</p> <p>平成 27 年度追加施設 野球グラウンド、町テニスコート、屋内運動場 費用等の問題もあるが、全ての施設がより適正に管理・運営されるような施設管理の方法を検討していく。</p>		
平成 28 年度 の目標又は 改善策	<ul style="list-style-type: none"> ・ 管理運営が指定管理者に委ねられている施設について、指定管理者が適切な管理に努めるよう指導していく。また、経費抑制や適正な管理ができるよう協議を続ける。 平成 28 年度は、総合運動場管理棟空調改修工事を実施する。 		

■作業工程（当該年度）

月	作業内容
4	<p>指定管理者制度導入施設の年度協定締結</p> <p>年間を通して施設の管理運営が適切に行われているか、指定管理者の動向を慎重に見守っていく。大規模な修繕が発生した場合は、指定管理者と協議しながら対応していく。</p>

□3年間の目標

目標	.					
	.					
項目（単位）	H26 計画	H26 実績	H27 計画	H28 目標	H98 目標	H30 目標

□2年後、3年後の主な計画

年度	計画内容及び改善策等
H29 年度	.
H30 年度	.

■事業コスト

		単位	H26 年度決算額	H27 年度当初予算額	H28 年度計画額
事業費		千円	78,917	47,526	47,353
(内特定財源)		千円	2,672	1,227	1,287
人工	職員	0.3	0.4	0.3	0.2
	臨時職員	0.0	0.0	0.0	0.1
	計	0.3	0.4	0.3	0.3

■平成 28 年度計画特定財源内訳

(単位：千円)

特定財源名称	金額	備考(充当先等)
12-1-9-5-1-2 行政財産目的外使用料	687	10-6-2 4 グラウンド等管理事業
19-3-4-9-7-1 特別養護老人ホーム負担金	600	10-6-2 4 グラウンド等管理事業
合計	1,287	

■平成 28 年度計画額の主な増減

(新たな取組、臨時経費、廃止項目等)

(単位：千円)

項目(科目等)	計画額	増減額	内容
10-6-2 04 15-27-1 総合運動場管理棟空調改修工事	2,322	2,322	総合運動場管理棟ロビー空調機の入替え

■特記事項

--

■ 目標又は改善策に対する取組内容

施設開館からどの施設も15年以上経過しており、施設全体の老朽化は否めない。施設の修繕を実施し、利用者が安全に利用できる環境が整備できたが、今後も修繕を必要とする箇所については、積極的に直していく必要がある。

● 総合運動場管理棟空調改修工事

■ 評価

少しずつではあるが指定管理者が施設の修繕を実施し、利用者が安全に利用できる環境が整備できたが、今後も修繕を必要とする箇所については、積極的に直していくよう指導する必要がある。

施設の管理運営が指定管理者に委ねられていることから、指定管理者と打ち合わせを行いながら、適切な対応がとられるよう指導していく。

事業別経営計画書【B】

■基礎情報

所属名	生涯学習課	No.	09		
事業名	野外活動施設管理事業				
総合計画の 体系	大分類	1	新しい時代を担う次世代を育む		
	小分類	(1)	個性を伸ばし豊かな人間性を育む学校教育・生涯学習の推進		
目的	<p>町民が自然にふれあいながら規律、協調、友愛の精神を養い、心身ともに健全に、また、より豊かな心を養うことを目的とし、安心して利用できる施設管理を目的とする。</p>				
事務内容	<table border="0" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 50%; vertical-align: top;"> <ul style="list-style-type: none"> ・ 設備の維持管理 ※外注分は協議・契約・履行確認 </td> <td style="width: 50%; vertical-align: top;"> <ul style="list-style-type: none"> ・ 支払処理 ・ 消耗品等の補充 </td> </tr> </table>			<ul style="list-style-type: none"> ・ 設備の維持管理 ※外注分は協議・契約・履行確認 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 支払処理 ・ 消耗品等の補充
<ul style="list-style-type: none"> ・ 設備の維持管理 ※外注分は協議・契約・履行確認 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 支払処理 ・ 消耗品等の補充 				
現在における 経過又は課題	<p>地元住民の有志グループに日常管理を委託してきたが、大きなトラブル等もなく現在も同じグループに日常管理を委託している。</p> <p>開場からすでに 30 年以上経過しており、施設全体の老朽化は否めない。現状では、施設利用者の要望に応えることができない部分も多々存在している。</p> <p>アスレチック施設については、木製であるので経年劣化が大きく、今後の施設の維持管理方針について引き続き検討していく。</p>				
平成 28 年度 の目標又は 改善策	<p>施設の老朽化に対応するため、可能な限り早期の修繕を実施している。また、地元地域からの要望等にも早期の対応に心がけている。</p> <p>施設そのものや特にキャンプ場の存在意義についても今後の検討課題であるが、施設利用者や地元地域の意見も踏まえつつ、施設の管理・運営をより良い方向に進めていく。</p>				

■作業工程（当該年度）

月	作業内容
4	<p>年間を通して行う保守点検等の契約締結 随時、履行確認をしていく。</p> <p>* 突発的な施設の不具合等への対応に努めながら、健全な施設運営を図っていく。</p>

□3年間の目標

目標	・ ・					
項目（単位）	H26 計画	H26 実績	H27 計画	H28 目標	H29 目標	H30 目標

□2年後、3年後の主な計画

年度	計画内容及び改善策等
H29 年度	・ ・
H30 年度	・ ・

■事業コスト

		単位	H26 年度決算額	H27 年度当初予算額	H28 年度計画額
事業費		千円	4,844	4,847	5,567
(内特定財源)		千円	45	1	20
人工	職員	0.2	0.2	0.2	0.2
	臨時職員	0.0	0.0	0.0	0.0
	計	0.2	0.2	0.2	0.2

■平成 28 年度計画特定財源内訳

(単位：千円)

特定財源名称	金額	備考(充当先等)
12-1-9-5-3-1 野外活動施設使用料	20	10-6-2 5 野外活動施設管理事業
合 計	20	

■平成 28 年度計画額の主な増減

(新たな取組、臨時経費、廃止項目等)

(単位：千円)

項目(科目等)	計画額	増減額	内容
10-6-2 05 15-28-1 ふれあいの森側溝敷設工事	254	254	ふれあいの森西側(余野境)側溝敷設

■特記事項

なし

■ 目標又は改善策に対する取組内容

地元住民の有志グループに日常管理を委託しているが、大きなトラブルもなく適正に管理ができている。開場から30年以上が経過しているため、木製遊具の経年劣化が著しく、施設点検などで指摘された箇所については、適宜修繕を行った。

- 看板修繕
- 遊具修繕

■ 評価

順次可能な限り早期の修繕等に対応しているが、今後、施設の維持管理方法について検討する必要がある。特にキャンプ場の存在意義についても、施設利用者や地元地域の意見も踏まえつつ、検討する。